

概要

CD/DVD/Blu-ray オーサリング 11.0 は、OnBase に格納済みのドキュメントファイルを任意のディスクグループボリュームからコピーして適切な光学式メディア（記録媒体）に格納することで、データバックアップ規定の順守や事業継続計画の強化を支援します。ドキュメントのバックアップは OnBase のプラットフォーム管理機能を使って簡単に実行でき、バックアップデータを格納した記録媒体をオフサイトで保管することで、データ損失が発生した場合のドキュメント復元に備えることができます。また、オーサリングをエクスポートおよびパブリッシングモジュールと統合させて利用することで、包括的なドキュメント配信ソリューションを構築することが可能です。

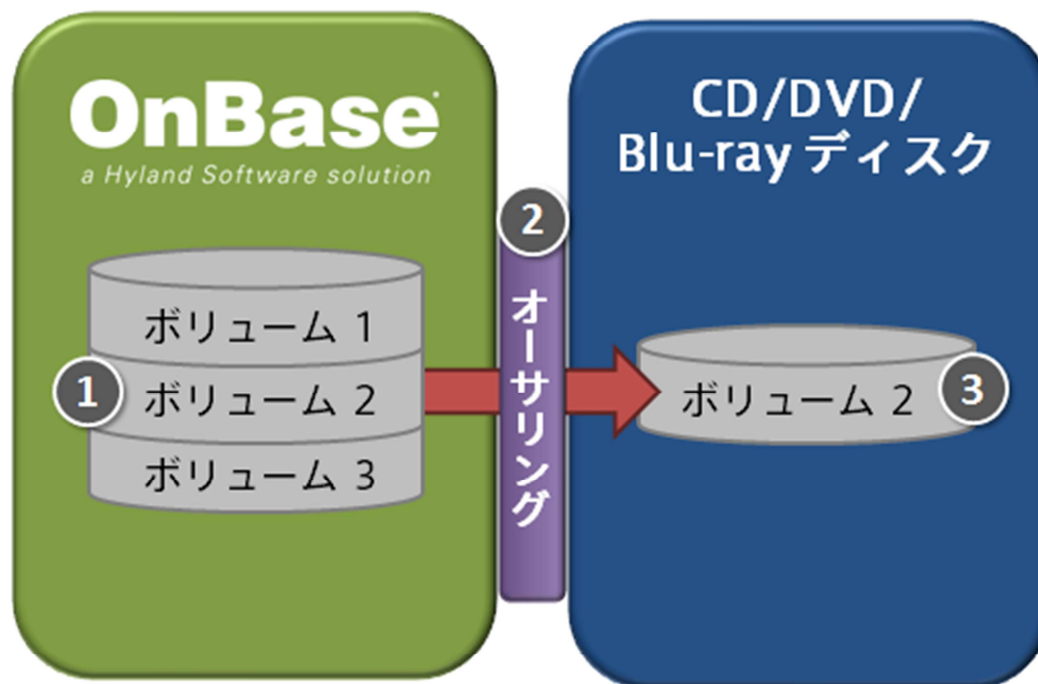
主なメリット

- ドキュメントの復元に際し、ドキュメントを再度スキャンしたり、その他の処理を再度実行したりする必要が無いため、ダウンタイム（システム稼働停止時間）に伴う遅延と費用を削減可能
- ドキュメントを迅速かつ容易に復元することでダウンタイムを最小限に抑制可能
- 一旦書き込んだデータは何度でも読み取れるが変更は不可能な WORM（Write Once Read Many）メディアにドキュメントを格納することでデータ改ざんを防止し、データ保存に関するコンプライアンスを強化
- 検索頻度や優先度の低いドキュメントをディスクを使ったストレージに移動させることでサーバーの容量を節約可能

アプリケーションの利用価値

- 事業継続計画：自然災害、ハードウェアの不具合、人的ミスなどの理由でデータ損失が発生した場合、組織は速やかに OnBase ドキュメントを復元し、早急に本番システムを利用可能な状態に戻す必要があります。ダウンタイムの長期化に比例して組織の収益性への影響が拡大する状況下で、時間と費用のかかるドキュメントの再スキャン作業や作り直しは組織にとって大きな負担となります。オーサリング 11.0 を利用することで、重要なドキュメントのバックアップが確実に行われ、ドキュメントを再度スキャンしたり作り直したりする時間の無駄を排除するとともに、ダウンタイムを最低限に抑えることができます。

デザイン



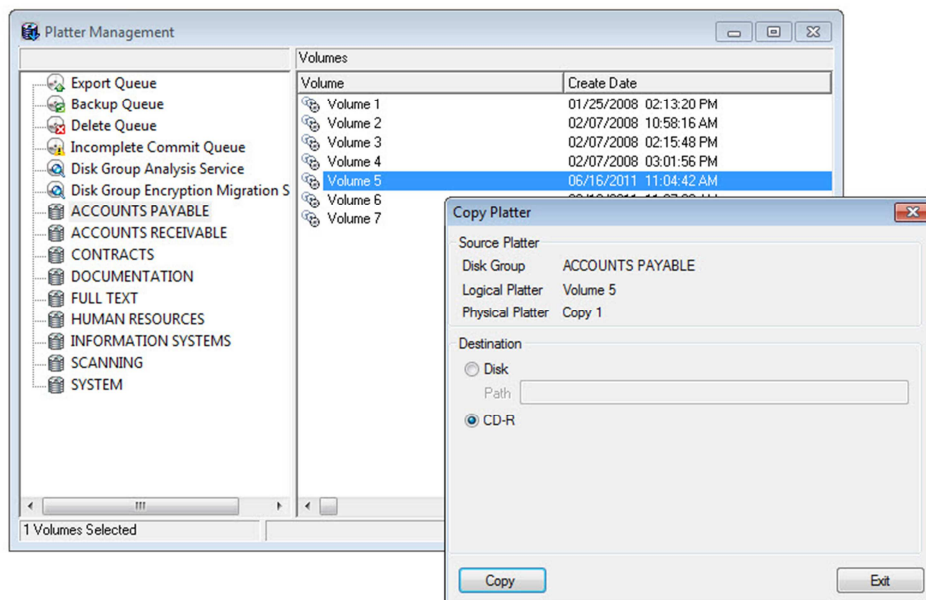
上記①～③の流れの様に、OnBase ディスクグループでプロモートされた（追加のデータ書き込みができないように閉じられた）ボリュームを CD、DVD、または Blu-ray ディスクにコピーします。オーサリング実行済みのディスクを使って、個別のドキュメントまたはボリューム全体を素早く簡単に OnBase に復元することができます。

主な特徴

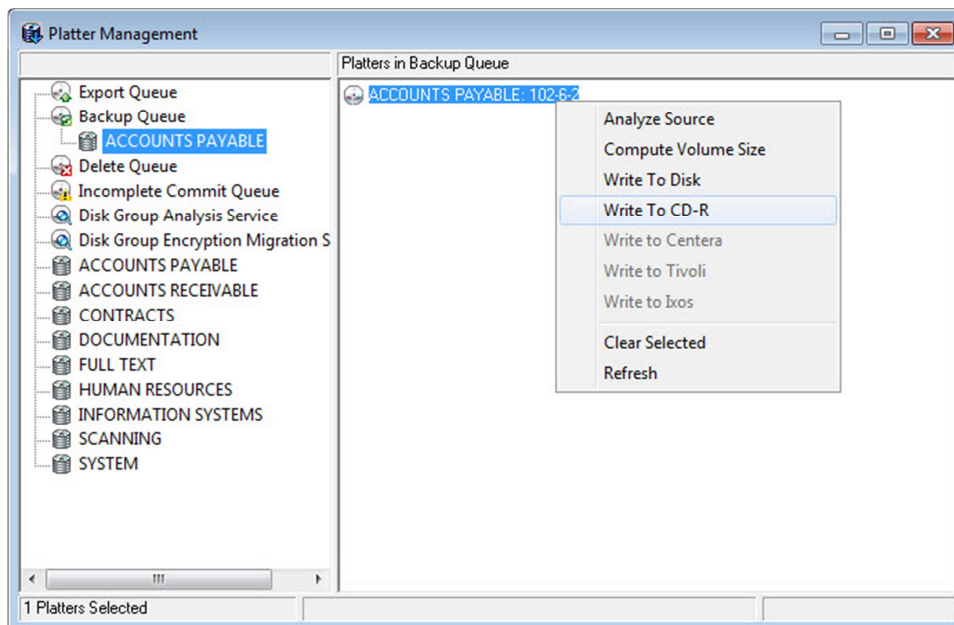
- ディスクグループ上のファイルを CD、DVD、Blu-ray ディスクにコピー
- OnBase のインターフェースを離れることなく、プラッタ管理機能から直接バックアップ用ディスクを作成可能
- ディスクグループのボリュームがプロモートされた時点で、プラッタ管理機能のバックアップキューからファイルをコピーし、バックアップ用のディスクを作成可能
- エクスポート、パブリッシング、ドキュメント配信など、その他数々の OnBase モジュールと統合可能

インターフェース

プラッタ管理機能を使ってボリュームを CD-R にコピーする例



バックアップキュー内のボリュームを CD-R にコピーする例



HYLAND
SOFTWARE

28500 Clemens Road • Westlake, Ohio 44145 • p.440.788.5000 • f.440.788.5100 • www.hyland.com
©Hyland Software, Inc. All rights reserved. Trademarks are the properties of their respective owners.